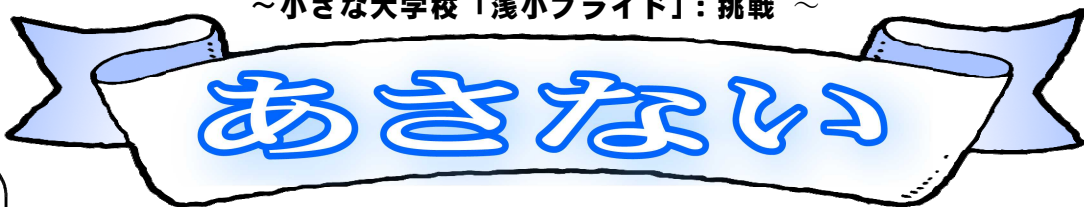




浅小HP
QRコード



令和3年7月8日(木) No.11 文責：校長 矢田部 瑞穂

浅小っ子活躍の夏

☆クラブ野球大会能代市予選：優勝☆



左からHY・HA・OR

7月3日4日に行われたスポーツ少年団の大会で、第四小が優勝を果たし、8月10日開幕の全県大会出場（テレビ中継あり）を決めました。第四小のチームキャプテンは、浅内小のHAさん（6年）。ファースト：HYさん（6年）。セカンド：ORさん（6年）です。本校からは3人が入部していて、3人とも優勝に大きく貢献しました。本当におめでとう！

◆決勝◆ 第四小 5 対 4 湊城西小

☆夏季ミニバス大会：4位☆

6月26日27日に行われた能代市山本郡夏季ミニバスケットボール大会において「浅内」チームは4位の結果を残しました。秋季大会に向け、またエンジン全開で頑張っています。

◆出場メンバー◆4番主将：HK（6年）5番：HK（6年）6番：KS（6年）7番：HD（5年）8番：MR（5年）15番：KS（3年）他：湊城西小から2名本校のチームに所属しています。



上段左：HD・KS・MR
下段左：HK・HK・KS

☆能代山本小学生陸上大会☆

6月6日に行われた能代市山本郡小学生陸上競技大会において、6年生になって初めて「挑戦」し、次の通りの結果を残しました。

◆SM◆
《6女100M》 第3位 記録16秒04
◆KK◆
《6女800M》 第2位 記録2分52秒78

SM



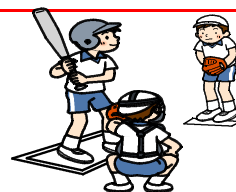
KK



☆春季ソフトボール大会：3位☆

5月4日に行われた秋田県小学校春季ソフトボール大会において3位の結果を残しました。5年生主体のチームでも、他チームに負けない強さで頑張っています。

左：MR（2年）
右：OS（5年）



浅小プライド「挑戦」

7月の全校集会校長の話で「負けること・失敗することはいいことかだめなことか」と課題提示し、全員にネームカードで意思表示させた。ほぼ全員が「いいこと」とし、10名ほどが「『いいこと』と『だめなこと』の間」にネームカードを置いた。そこからAction!全員が理由を言いたくて手を挙げた。それだけでも、今年度の各学級の学びの成果が出ていることが分かる。3分間自由に意見を出させた後で私はこう揺さぶりをかけた。「『いいこと』とみんな言っているけれども、私はこんな場面を見たことがある。試合に負けそうなとき泣きながら試合をしている場面・試合に負けそうになると声が出なくて元気がなくなる場面・授業中に発言して間違えると、もう二度と手を挙げなくなる場面・・・そんな場面をよく見かけるけれども、それでも『負けること・失敗すること』はいいことなの?」と。一瞬静まりかえったが、それでも!と手を挙げたのが次の人たち。



1年：YK

負けるのも間違いないから。

失敗は、次の鍵になる!だから、恐れない。



4年：TK

失敗の原因は、考えられる!だから、次は改善しよう!



6年：KK

算数の解答を間違えたとき、発表するのが嫌になったけれど、次の問題に挑戦すること、心が晴れていくことが大事。

6年：TK



4年：OC

負けたり失敗したり、恥ずかしかったり、悔しかったり・・・そういう気持ちがあるからこそ、次に繋がると思う。

上の人たちの宝の発言を受け、まとめとして、バスケット部と野球部のキャプテンに「『負け』や『失敗』から得たこと」を話してもらった。

ミニバス主将：HK



負けを経験したことでここから這い上がるという一体感がチーム力を増すことに繋がった。

野球部主将：HA



負けを経験したからこそ、今回の優勝に繋がった。負けたから勝った時の喜びが際立つ。

最後に私から・・・「私が一番だめだと思うことは『何もしないこと』。『失敗』や『負け』を経験することで心が強くなります。失敗を恐れず、たくさん「挑戦」してください。そして、強い自分をつくってってください。」と、子どもたちに心を込めて伝えました。

おしらせ

①8/30引き渡し訓練を行います!

詳細は、夏休み明けにお知らせいたしますが、今年度は8月30日(月)に不審者対応避難訓練を実施し、引き続き15時頃から「引き渡し訓練」を行います。その時間帯にお迎えをお願いすることとなりますのでご協力をお願いいたします。

②図書カードをいただきました!

農地・水・環境保全管理協定運営委員会より、今年度も児童一人一人に「図書カード」をいただきました。今年度は、「夏休みに読書に親しむことができるように早めに配付します。」とお話くださり、7月配付に至りました。学校の行き帰り、地域の皆様と共に植栽したペチュニア・日々草がとても美しく風に揺れています。沿革誌によると平成20年から、13年間続いているこの植栽活動。絶やさず続けていきたいと思えます。